

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

インタクト 型プロコラーゲン・N・プロペプチド (Intact P NP)

(依頼コード No.1217)

受託開始日 2011年4月4日(月) 受付分より

骨は、破骨細胞による骨吸収と骨芽細胞による骨形成とを周期的に繰り返す新陳代謝が活発な組織で、骨基質にカルシウムやリンからなるハイドロキシアパタイトの結晶(骨塩)が沈着して形成されています。この骨基質の90%以上が 型コラーゲンで占められています。 型コラーゲンは、骨芽細胞内での前駆物質である 型プロコラーゲンとして合成され、細胞外に分泌されてペプチダーゼの作用によりC末端およびN末端が切断された後、重合してコラーゲン線維が完成します。この時にN末端から切断されて放出されるのがインタクト 型プロコラーゲン・N・プロペプチド(Intact P NP)です。Intact P NPは 型プロコラーゲンが 型コラーゲンとしてコラーゲン線維に組み込まれるときに生成され、骨基質に局在することから、その血中濃度は 型コラーゲンの合成、すなわち骨形成の状態を反映するマーカーとして利用できることが判りました。

受託要領

依頼コード No.	1217
検体必要量	血清 0.3mℓ
検体の保存方法	凍結
採取容器	B - 1 S - 1
測定方法	RIA 2 抗体法
基準値	男性(40 ~ 60歳) 19.5 ~ 71.2 閉経前女性(30 ~ 44歳) 14.9 ~ 68.8 (μg/ℓ)
報告日数	3 ~ 9日
検査実施料 / 判断料	170点 / 144点(生化学的検査) 骨型アルカリホスファターゼ(BAP) インタクト 型プロコラーゲン・N・プロペプチド(Intact P NP)およびアルカリホスファターゼ・アイソザイム(ポリアクリルアミドディスク電気泳動法)のうち、2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

【参考文献】1) 曾根照喜, 他: ホルモンと臨床, 49(11): 1133 - 1138, 2001.

2) 三木隆己, 他: Osteoporosis Japan, 12(1): 121 - 128, 2004.

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社: 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所: 〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132